

資料等調査結果報告書

年 月 日

(宛先) 川崎市長

対象地に係る土地所有者、事業者、管理者のうちいずれかの者で、本調査結果について責任を持てる者の氏名を記入してください。

郵便番号

〒〇〇〇—〇〇〇〇

住所

東京都〇〇区〇〇丁目〇-〇

氏名

〇〇工業株式会社

代表取締役 川崎 一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

対象地の案件名称を記入して下さい。
今後の一連の報告書での同一の名称となります。

川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例第81条第1項の規定により、次の対象地について資料等調査を実施しましたので、その結果を次のとおり報告します。

| | |
|-----|---|
| 名 称 | 〇〇工業株式会社川崎工場 □□□工事 |
| 所在地 | (住居表示)川崎市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇-〇 (地番表示)川崎市〇〇区〇〇町〇〇丁目〇番-〇 |

住居表示と地番表示の両方を記入してください。

土壤汚染資料等調査結果

1 既存資料等調査

(1) 事業所の概要

記載欄に書ききれない場合は、「別紙〇のとおり」とし、資料を添付して下さい。

| | | | |
|----------|----------------------------------|---------|-----------|
| 事業所の名称 | 〇〇工業株式会社川崎工場 | | |
| 事業所の所在地 | 川崎市〇〇区〇〇丁目〇-〇 | | |
| 土地所有者名 | 川崎一郎、〇〇工業株式会社 | | |
| 事業所の敷地面積 | 32,000 m ² | 事業開始年月日 | 昭和××年〇月△日 |
| 業種 | 電気機械器具製造業 | 主要製品 | 〇〇製品 |
| 連絡先 | (電話番号)044-〇〇〇-×××× (担当者氏名) 川崎 太郎 | | |

事業所の敷地全体の面積を記入してください。

備考 事業所の敷地の平面図を添付してください。

平面図は、広域、近隣地図を添付してください。

(2) 事業所の作業内容、使用薬品等

ア 特定有害物質等の取扱状況

現在も取扱中であれば、「現在あり」にも〇をしてください。

特定有害物質等の取扱・・・ 過去にあり 現在あり なし

(特定有害物質等の取扱状況の内容)

使用場所、保管場所について添付資料で図示して下さい。

| 特定有害物質等の名称 | トリクロロエチレン | 六価クロム化合物 | PCB |
|------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 種類 | 同上 | ニクロム酸カリウム | PCB |
| 使用目的 | 酸による表面処理による脱脂 | めっき表面処理 | 変圧器の絶縁油 |
| 使用期間 | 昭和〇〇年～令和△年 | 昭和〇〇年～令和×年 | 昭和〇〇年～令和×年 |
| 使用量 | 〇t/年 | ×t/年 | 〇L |
| 使用場所 | △号館2階 詳細は別紙〇のとおり | △号館1階 詳細は別紙〇のとおり | △号館1階 詳細は別紙〇のとおり |
| 保管期間 | 昭和〇〇年～令和△年 | 昭和〇〇年～令和×年 | 昭和〇〇年～令和×年 |
| 保管場所 | △号館2階 詳細は別紙〇のとおり | △号館1階 詳細は別紙〇のとおり | △号館1階 詳細は別紙〇のとおり |
| 保管方法 | ドラム缶にて保管 | 密閉容器にて保管 | 密閉容器にて保管 |
| 保管量 | 〇t | △t | 〇L |

特定有害物質等を含んだ原材料・薬品の名称を記入してください。

使用期間に対応する情報を記入してください。

保管期間に対応する情報を記入してください。
※保管量については当該期間における最大量

イ 特定有害物質等に関する作業内容及び作業工程

めっき作業、表面処理、脱脂作業の工程は、別紙□に示すとおり。

作業内容、作業工程について、概略を記載するとともに、作業フロー図や作業の詳細を説明する資料を添付してください。

ウ 施設の破損その他の事故による特定有害物質等の漏出の有無、場所等
 特定有害物質等に関する事故等による発生の有無・・・ ① 有 2 無)

(施設の破損及び発生状況の内容)

| | | | |
|------------|-----------|-----------------------------|--|
| 特定有害物質等の名称 | トリクロロエチレン | | |
| 発生年月 | 昭和××年○月 | | |
| 発生場所 | 別紙○のとおり | 発生場所、漏出箇所について、添付資料で図示して下さい。 | |
| 漏出箇所 | 別紙×のとおり | 漏出箇所について、添付資料で図示して下さい。 | |
| 漏出量 | 約△△L | | |

エ 特定有害物質等を含む排水、排ガス、廃棄物の発生、排出の状況及びそれらの処理施設等の概要、場所等

特定有害物質等を含む排水・排ガス・・・ ① 過去にあり 2 現在あり 3 なし
 → (ア)へ進む。

特定有害物質等を含む廃棄物・・・ ① 過去にあり 2 現在あり 3 なし
 → (イ)へ進む。

(ア) 特定有害物質等を含む排水・排ガスの発生、排出等の状況及びそれらの処理施設等の概要、場所等

| | | | |
|---------------------|---------------------------------------|---|--|
| 特定有害物質等の名称 | 六価クロム | | |
| 排水・排ガス発生経路 | クロム系の表面処理工程 詳細は別紙△△のとおり | 排水・排ガスの発生源工程を添付資料で図示して下さい。 | |
| 排水・排ガス系統 | 別紙△の系統図のとおり | 排水・排ガスフローとともに敷地内でのルート を添付資料で図示して下さい。 | |
| 排水処理又は排ガス処理施設等の概要 | イオン交換方式を併用した 凝集沈殿処理 詳細は別紙□□のとおり | 排水・排ガス処理施設の図面を添付して下さい。 | |
| 排水処理又は排ガス処理施設等の設置場所 | ×号館横 詳細は別紙△△のとおり | 排水・排ガス処理施設等の設置場所を添付資料 で図示して下さい。 | |

(イ) 特定有害物質等を含む廃棄物の発生、搬出等の状況及びそれらの処理施設等の概要、場所等

| | | | | |
|------------|-----|-------------------------------|-------------------------------|--|
| 特定有害物質等の名称 | | トリクロロエチレン | | |
| 廃棄物の発生経路 | | 加工部品及び機械等の脱脂洗浄後に発生する廃溶剤 | | |
| 廃棄物の一時保管場所 | | △号館1階の産業廃棄物保管場所 詳細は別紙○のとおり | | |
| 廃棄物の処分方法 | | 産業廃棄物処理業者に委託し焼却処分 | 一時保管場所について添付書類で図示してください。 | |
| 廃棄物中間処理施設 | 有・無 | 有 | 自社で施設を持っている場合は「有」と記載してください。 | |
| | 種類 | 汚泥脱水施設 | 処理フローを添付してください。 | |
| | 概要 | 処理能力: 〇〇m ³ /日 | | |
| | 場所 | 〇〇エリア | 処理施設の設置場所を添付資料で図示してください。 | |
| 敷地内埋立て | 有・無 | 有 | 敷地内に埋立てを行っていた場合は「有」と記載してください。 | |
| | 埋立量 | 〇〇m ³ | | |
| | 場所 | 〇〇エリア | 埋立て場所を添付資料で図示してください。 | |

オ 施設の除去時の特定有害物質等の処理状況等

施設の除去時において特定有害物質等が残存し、又は付着した装置等 (1) 有 2 無)

(装置等の解体状況)

| | |
|------------------------|--------------------------------------|
| 装置等の解体方法 | 昭和×△年のクロム系めっき施設の一部廃止に伴いに、めっき槽等を撤去した。 |
| 装置等の解体場所 | 別紙□□に示す旧第2号館の2階 |
| 装置等の解体場所を添付資料で図示して下さい。 | |

(3) 対象地の関係

| | |
|---|---|
| <p>土地利用の履歴</p> | <p>昭和□年以前 個人所有の田畑</p> <p>昭和□年～昭和××年 ○×金属産業株式会社が土地を取得し、活動</p> <p>昭和××年～ ○○工業株式会社が土地を取得し、川崎工場を設立</p> <p>～令和▲年 ○○工業株式会社川崎工場として活動</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">土地利用の履歴を確認した根拠となる資料を添付して下さい。 例) 登記事項証明書、航空写真、住宅地図 等</p> |
| <p>過去の事業活動の内容</p> | <p>昭和□年～昭和××年 ○×金属産業株式会社が電子材料・非鉄金属関連事業を実施していた。</p> <p>昭和××年～ ○○工業株式会社が電子部品製造を開始し、現在まで同一事業活動を実施していた。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">過去の事業活動を確認した根拠となる資料を添付して下さい。 例) 企業ホームページの概要、社史の抜粋 等</p> |
| <p>土地の造成方法の履歴 (盛土厚や海面埋立等)</p> | <p>① 当該地は昭和○○年に×mほど盛土され、土地が造成された。</p> <p>② 当該地は昭和○○年に川崎市により海面埋立され土地が造成された。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">不明な場合は、「不明」と記載してください。</p> |
| <p>土地改変後の利用形態等</p> | <p>例) 共同住宅、事業所、工場 等</p> |
| <p>土地改変後の土地所有者 ・ 名称 ・ 所在地</p> | <p>○×株式会社 東京都○□区○○1丁目△-□</p> |
| <p>移 転 等 先 ・ 名 称 ・ 所在地 ・ 電話番号</p> | <p>○○工業株式会社横浜工場 横浜市○○区×丁目△-□ 電話045-×△△-○○○○</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">事業所が移転する場合のみ記載してください。</p> |
| <p>移転等の予定年月日</p> | <p>令和○○年△月××日(予定)</p> |
| <p>土 壌 の 搬 出 先 ・ 名 称 ・ 所在地</p> | <p>未定</p> |
| <p>土壌の搬出の予定年月日</p> | <p>令和○○年△月××日(予定)</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">不明な場合は、「不明」と記載してください。</p> |
| <p>今 後 の 連 絡 先</p> | <p>○○工業株式会社横浜工場 総務部 ○○ ○○ 横浜市○○区×丁目△-□ 電話045-×××-△△△△</p> |

(4) その他参考となる事項

ア 簡易な土壌調査結果

当該敷地内で過去に法や条例の適用を受けない土壌調査を実施したことがある場合、その内容を記載した資料を添付して下さい。

| | |
|------------|--|
| 特定有害物質等の名称 | テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン |
| 調査方法 | 調査時期:平成〇年〇月 事業所敷地を30m毎に区分けして表層土壌調査を実施した。 |
| 調査内容 | 工場操業中にISOの一環として、土壌ガス調査を実施した。 |
| 調査結果 | 別紙◇◇の調査結果報告書のとおり。 |

イ その他の事項

| | |
|--|---|
| 用途地域 | 準工業地域 |
| 地形の状況 | 平坦な沖積低地を形成している自然堤防地帯 出典:「川崎市環境地質図調査報告書」 |
| 地層の状況 | 沖積低地に広く分布している沖積層からなる。 出典:「川崎市環境地質図調査報告書」 |
| 排水状況 (排水の排出先) | 生活・工程系排水は、公共用水域(多摩川)へ放流 排出先について、公共用水域か下水道のいずれかを記入してください。 |
| 事業所の敷地及び周辺の井戸の状況 | 事業所の敷地及び周辺に井戸はない。 ※把握している場合は、記載してください。 |
| 事業所の敷地及び周辺の地下水の汚染状況 (既存井戸による地下水調査等) | 事業所の敷地及び周辺の地下水の汚染状況は不明である。 ※把握している場合は記載してください。 |
| その他参考となる内容 | |

2 資料等調査のまとめ及び今後の予定

資料等調査の結果により次の区分に従って○をしてください。
 有：特定有害物質等の取扱履歴があったことが確認された場合
 無：特定有害物質等の取扱履歴が無かったことが確認された場合
 不明：特定有害物質等の取扱履歴の有無が不明であった場合

| | |
|------------|---|
| 資料等調査のまとめ | 土壌の汚染のおそれ 有 ・ 無 ・ 不明 |
| | 理由 ○○工業株式会社川崎工場として、トリクロロエチレン、六価クロム、PCBの取扱履歴が確認された。また、過去に対象地で○×金属産業株式会社が電子材料・非鉄金属関連事業を行っていたが、特定有害物質の取扱履歴が不明である。 土壌汚染のおそれが有・無・不明それぞれの場合について、それぞれに対応する理由を記入してください。また、それぞれに該当する過去の事業活動及び特定有害物質等の種類を記入してください。 |
| 今後の土壌調査の予定 | 土壌調査対象面積 10,000 m ² 今回の土壌調査の対象とする区域の面積を記入してください。 |
| | 今回、対象となる範囲は、トリクロロエチレン、六価クロムの土壌汚染のおそれがある。○○工事により敷地外へ土壌を搬出することから、当該物質を対象に別紙○○のどおり、土壌調査を実施する。 なお、PCBについては、今回の対象範囲については汚染のおそれがないため、調査対象とはしない。 土壌調査が生じる契機について記載してください。また、調査対象物質を明記するとともに、対象としない物質がある場合はその旨及び根拠についても記入してください。 |

資料等調査結果報告書チェックシート

- 書類は2部（正本・副本）提出してください。
- 図面は、方位がわかるように記入してください。

| | | 注意点等 | チェック欄 |
|---|---------------------------|---------------------|-------|
| 1 | 周辺地図 | 事業所の周辺状況が分かるもの | |
| 2 | 特定有害物質等の使用場所及び保管場所を示した平面図 | 対象範囲を示したものを添付する。 | |
| 3 | 土地利用の履歴を確認した根拠資料 | 登記事項証明書、航空写真、住宅地図等 | |
| 4 | 各記入項目における添付資料 | 添付する各根拠資料の参照先を記載する。 | |